

大きく変わるネットの情報発信

POINT
Google検索の半数はマップの検索
Googleマップへの投稿が集客に効果的

ホームページのアクセス数が伸び悩んでいます。スマホ時代のお客様は、どのように情報を探しているのでしょうか？

ネットの情報発信に関するインフラやお客様の関心は大きく変革している。そのため、従来の成功パターンを変革する必要がある。

変革しているネット環境と表現技法

かつてはインターネット＝ホームページであったが、現状をみると、Google/Facebook/YouTubeのアクセスが拮抗している。企業価値を伝える手段が変革していることを自覚する必要がある。また、GoogleマップのアクセスがGoogle検索の44%を占めるようになってきている。Googleマップへの情報掲載が必須となっている。

スマホ時代の集客術

スマホで「ランチ 静岡市」を検索してみてもいい。ここで注目すべきことは①スマホにあらわれた画面が何かということ、

②候補として挙げられた店の特徴はなにか、である。

検索結果の特徴を整理すると、①お店のHPや食べログよりもGoogleマップの方が上位検索されること。②検索者が保有するスマホのGPSと連動して検索者の現在地に近い候補をだす、ということである。

Googleは外部機関に調査を依頼した結果の概況をお伝えすると、①Google検索者の44%がGoogleマップを見ている。②Googleマップの閲覧者の41%が来店している。③さらに360度カメラを使ったストリートビューのバーチャルツアーで店内を表現すると来店率が2倍になる。著者の支援企業でも、50人収容可能なホールを360度カメラでみせたところ、法事客が集中予約するようになった事例もある。

スマホHPも無料で作れる Googleマップ

Googleマップに企業登録すると次のようなメリットがある。①お客様のマップへのコメントに返信できる。②Googleマップ上に無料でスマホ対応のHPが1枚作れる。③そのHP上から店に電話発信できる、ナビによるルート案内ができる。④他の同業者の平均アクセス数と比較できる。⑤③による発信者、ナビ検索者が何人いたのかも記録でわかる。

Googleストリートビューの効果

著者は栃木市にある都賀町商工会と契約して25社のストリートビューをGoogleマップに投稿した。この結果、半年で1万アクセスを得た植物園もある。製造業にも好影響を与えて閲覧数が伸びている。また、鳥取県商工会連合会から依頼されたブルーベリー狩り農園は、HPの整備、YouTubeによる誘客ルート案内、Googleマップのストリートビュー（健常者用、車いす用）を作ったところ、集客が

昨年対比で2倍となった。学習塾も夏期講習の募集が好調であった。

Googleにストリートビューのバーチャルツアーを依頼すると1社12万円かかる。これは小規模事業者には負担だ。そこで、上記のように支援機関と連携して、小規模事業者伴走型事業の予算などを使い、この効果的なツールの普及を著者は進めている。インターネットの利用の仕方が変化しているため、その対応が求められている。

静岡商工会議所では毎月「IT情報化相談会」（無料）を開催しています。ご希望の方は、中小企業相談所 静岡支所 電話0542535113 清水支所 電話0543533401 へご連絡ください。

回答



中小企業診断士
静岡商工会議所 専門指導員
(有)アイリンク・コンサルタント
加藤忠宏 さん